

性 出前講座 12/19・21 について学ぶ

高千穂中学校1年生(19日)と2年生(21日)を対象に町保健福祉総合センターの保健師を講師として、性に関する出前講座が行われました。

1年生は「おとなへの第一歩 ～からだの成長とパーソナルスペース～」と題し、身体の成長に関する話や“パーソナルスペース(他人に近づかれると不快に感じる空間)”について。2年生は「自分を大切に～ SNSや異性との付き合い方～」と題し、SNSの利用の仕方や怖さなどについて学び、これから大人へと成長していく上で身体や環境の変化、学校や社会生活における豊かな人間関係の構築やさまざまな問題に対し、適切な判断や対処できるよう身につけることができました。



共 延岡しろやま支援学校高千穂校 12/20 生コース開設！

宮崎県立延岡しろやま支援学校高千穂校(出水悌二校長)が、多様な価値観を尊重するインクルーシブ教育の推進や共生社会の実現を目指す「共生コース」の開設セレモニーを行いました。※令和5年度からスタート

出水校長は「地域産業を担う人材の育成を育むために知的障害のある生徒を対象としたコースの設置について、高千穂高校の教職員や生徒たちとともに令和元年度より研究を行ってきた。高千穂高校との交流を基本とした、延岡しろやま支援学校、五ヶ瀬中等教育学校との交流が、子どもたちにとっても大きな原動力となり、お互いが共に学び助け合っていく力を育て、積極的な社会参加を行う力を育成でき、共生社会の実現に向けた取り組みができた。今年度までに実践を基礎とし交流を充実させ、子どもたちの将来の自立と社会参加に向けて、お互いの力が発揮できるものと期待するとともに、持続的な交流を進めていき、さらには、共生コースで学んだ実践を地域の方々に啓発し今後の適正進学に取り組んで参ります」とあいさつ。

式では、延岡しろやま支援学校高千穂校と高千穂高校の生徒が高千穂の夜神楽、詩の朗読、手話歌を披露。両校を代表して、しろやま支援学校3年の土持翔太郎さんが「高千穂高校との交流では、授業では学べないたくさんのことを教えてもらった。苦手なこと嫌いなことでも下を向かず、全集中でがんばり大きく成長ができた」。高千穂高校2年の佐藤凜さんが「同じ敷地内で多くの活動を通して強い絆を感じ、学校の垣根を越えた仲間。これからもともに学び続ける仲間といわれることをうれしく思う。これまで以上の交流で絆を深めていければ」と述べ、しろやま支援学校3年の甲斐翔汰さんと高千穂高2年の田上翔太さんが、共生実現の誓いを読み上げ「共に前へ進んでいくことを誓います」と締めくくりました。



福 出前講座 12/2 祉の仕事学ぶ

高千穂中学校2年生を対象に、福祉の仕事に対する理解を深めるため、介護福祉士、社会福祉士、理学療法士を招き、出前講座が行われました。

生徒たちは、それぞれの仕事内容や魅力を聞くことで、各職種に対する理解ややりがい、働くことの大切さなどを学び、将来の選択肢の1つとして考えるものとなりました。



理学療法士 坂本 憲哉さん(高千穂町) 介護福祉士 池田 晶子さん(門川町)

手遊びうたをする生徒 社会福祉士 磯田 晃さん(延岡市)

まらり 高千穂 人

宮崎県公共図書館連絡協議会 功労者表彰

戸敷恵美さんと藤野英里さんが、多年にわたる図書館業務の従事や図書館活動の進展に寄与するなどの功績が認められ、宮崎県公共図書館連絡協議会小川雅彦会長より表彰状が送られました。戸敷さんは、平成17年から社会教育指導員として読み聞かせ団体の結成や支援を行っており、藤野さんは、平成21年から司書として勤務し図書修理やレファレンスサービスに取り組みなど読書推進の功績が認められました。



みやざき茶業推進会議 功労賞受賞

12月15日、令和4年度みやざき茶業推進大会みやざき茶業推進会議菊田武光会長において、飯干敏光さんが茶業功労賞を受賞しました。飯干さんは、共同茶工場の管理や製造受託などを行い、釜炒り茶の振興や産地の発展を支え、高千穂町茶業振興会会長や県茶業協会副会長を務めるなど、町のみならず県の茶業振興に大きく貢献。また、黄綬褒章をはじめとする多くの賞を受賞するなどしてきました。



「食と農」壁新聞コンクール 高千穂町長賞受賞

12月17日、郡内の児童を対象にした「食と農」壁新聞コンクール(みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部)の表彰式が行われ、高千穂小学校5年生(佐藤愛翔さん・興柏優雅さん・後藤明々さん・坂本亜津奈さん・田中鈴花さん)が作成した「お米のひみつ」が高千穂町長賞を受賞しました。興柏さんは「とてもうれしい。1番頑張ったことは、インターネットでいろいろ調べたこと」と感想を述べました。



高千穂観光ジュニアサポーター 認定証授与

12月23日、高千穂中学校3年の佐藤愛美さんが「高千穂観光ジュニアサポーター」として、高千穂町観光協会竹尾通洋会長から認定証を授与されました。同月3日に行われた第31回高千穂検定の中級に合格したジュニアサポーターは中学生の中級以上の合格者が対象した佐藤さんは「高千穂のことをもっと知りたいため受検。神様の系図や漢字の読み書きが難しかった。町のために役立てたい」と述べました。

